



◆◆ 8/29(月) 始業式 ◆◆

8月29日、2学期が始まりました。始業式に参加する児童の集中した様子から、2学期も更に頑張ろうという意欲が伝わってきました。校長挨拶では「教室は間違ふところ」と話し、間違いを恐れず主体的に学ぶことを勧めました。物事には表もあれば裏もあり、見る角度により様々な見え方があることから、自分の考えを伝えるとともに、自分以外の考え方を理解しようと伝えました。後日、教室を参観すると、「教室は間違ふところだよ」との声が何度も聞かれ、子どもたちが意識してがんばっている様子に嬉しくなりました。



【オンラインの始業式】

◆◆ 9/3(土) PTA奉仕活動 ◆◆

二学期最初の土曜日は、PTA奉仕活動が行われました。保護者、学童支援員、職員が、朝6時30分に集まり作業を行いました。

【芝生の掘り起こし】



bifore → after

【校庭北側】



bifore → after

【校舎近く】



【ネイチャーパーク】



例年よりも雑草が多く、除草・刈りみがたいへんだったと思います。

2時間に及ぶ取組のおかげで、勢いよく伸びた雑草が一掃されました。

また、校庭に向かって伸びすぎた芝生も掘り起こしてくれました。

◆◆ 9/10(土) 資源ゴミ回収 ◆◆

前回よりも多くの資源ゴミを回収することができました。

今後のPTA活動に役立てて参ります。

御協力いただきありがとうございました。



thanks

R4学校経営の、育てたい資質・能力は4つあります。

①自尊心・他尊信 ②企画・実践力 ③思考・判断・表現力 ④コミュニケーション力

前回の自尊心・他尊信に続き、今回は「企画・実践力」についてご説明します。

◆◆ 育てたい資質・能力シリーズ2【企画・実践力】 ◆◆

昨年度、本校の給食献立に、児童のリクエストメニュー「ツナポテトバーグ」が採用されました。児童は、採用してもらうためにできることを自分たちで考え実践していきました。そのたくましさは、本校の基本目標「生き抜く力をもつ子」につながるものでした。そこで今年度も、自分たちの願いの実現を通して育つ資質・能力を「企画・実践力」と名付け、児童を中心に据えた学校経営を展開しようと考えました。

「企画・実践力」を育てる場は、主に学校行事です。1学期は運動会で実践し、成果をあげました。2学期は池ノ森の伝統的イベント「池小まつり」において、育成して参ります。

既に、児童から以下のような願い（種目）が出され、種目ごとに実行委員が編成されました。

- (1) 運動会のリベンジをしたい（お囃子）
- (2) すばらしい演技をもう一度見てもらいたい（ソーランビート）
- (3) 以前行っていた池小の伝統を復活したい（英語劇）
- (4) 昨年度のように、歌声を届けたい（合唱「ビリーブ」）

9/5 ソーランビートの練習



全校練習の進行を務める実行委員たち。直したいところに気づくと、その都度話し合いながら練習を進めました。ステージに立つのは、みんなのお手本となる6年生。全体を見ながら、改善に努めました。

9/8 お囃子の練習



月1回、お囃子の講師、田中さんが来てくれます。進行は実行委員が務め、音磨きの指導は田中さんです。最初はパート別で練習し、最後に全体で合わせました。運動会の経験もあり、夏休みに自主練した子もいました。

英語劇：台本づくり

英語劇は、「うらしまたろう」になりました。日本語を英訳して台本を作るのは高学年です。タブレットを使い、翻訳アプリで作業しました。実行委員は、業間休みに集まり、配役や係分担等の企画中です。



